

III 業務報告

1 業務概要

1. 1 環境保健部

平成24年度は、調査研究の企画・調整業務、環境管理業務、環境保健情報処理システムの運用業務、当センター業務に係る研修・広報、水質環境管理に関する調査研究等を行った。

1. 1. 1 調査研究に関する企画・調整業務

鹿児島県環境保健センター調査研究実施要綱等に基づき、効率的かつ的確に調査研究を推進するため、調査研究管理委員会等において調査研究課題の選定、進捗状況の管理、研究成果の評価を行った。

また、鹿児島県環境保健センター調査研究評価要綱に基づき、調査研究の効率的かつ効果的な実施と活性化及び透明性の確保を図るため、調査研究内部評価委員会、外部評価委員会を開催した。

1. 1. 2 環境管理業務

湖沼や閉鎖性の湾など、富栄養化等によって水質汚濁の進行が懸念される水域について、水質汚濁の要因を明らかにし、総合的な水質保全対策を講ずるため、鹿児島湾水質環境管理計画及び池田湖水質環境管理計画が策定されている。

平成24年度は、両環境管理計画に係る環境関連情報の収集整理を行うとともに、水質汚濁に関する検討を進めた。また、志布志湾及び五反田川の水質調査結果を解析するとともに汚濁負荷の現状を把握し、環境保全対策に資する基礎資料等を取りまとめた。

1. 1. 3 環境保健情報処理業務

昭和57年度に環境情報処理システムとして、汎用電子計算機を整備し、同システムを活用して測定データ等の環境情報や人口等の社会情報を集積し、解析を行い、環境行政の各種施策の推進及び効率化を支援してきた。平成11年度及び平成12年度にOA技術の進展に伴いシステムの見直しを行うとともに、組織再編に伴い当センター城南庁舎（旧環境センター）、城山庁舎（旧衛生研究所、平成24年3月に錦江庁舎へ移転）等を通信回線で接続し、サーバーとPCで構成したネットワークシステムによる環境保健情報処理システムを構築した。新システムにより、環境情報に保健情報も加え、様々な環境保健情報の共有と高速データ転送による業務の効率化を図ってきている。

平成21年度には、ネットワークシステムを行政情報ネットワークと統合して県の他所属との情報伝達や通信回線の維持管理業務の効率化を図るとともに、当センタ

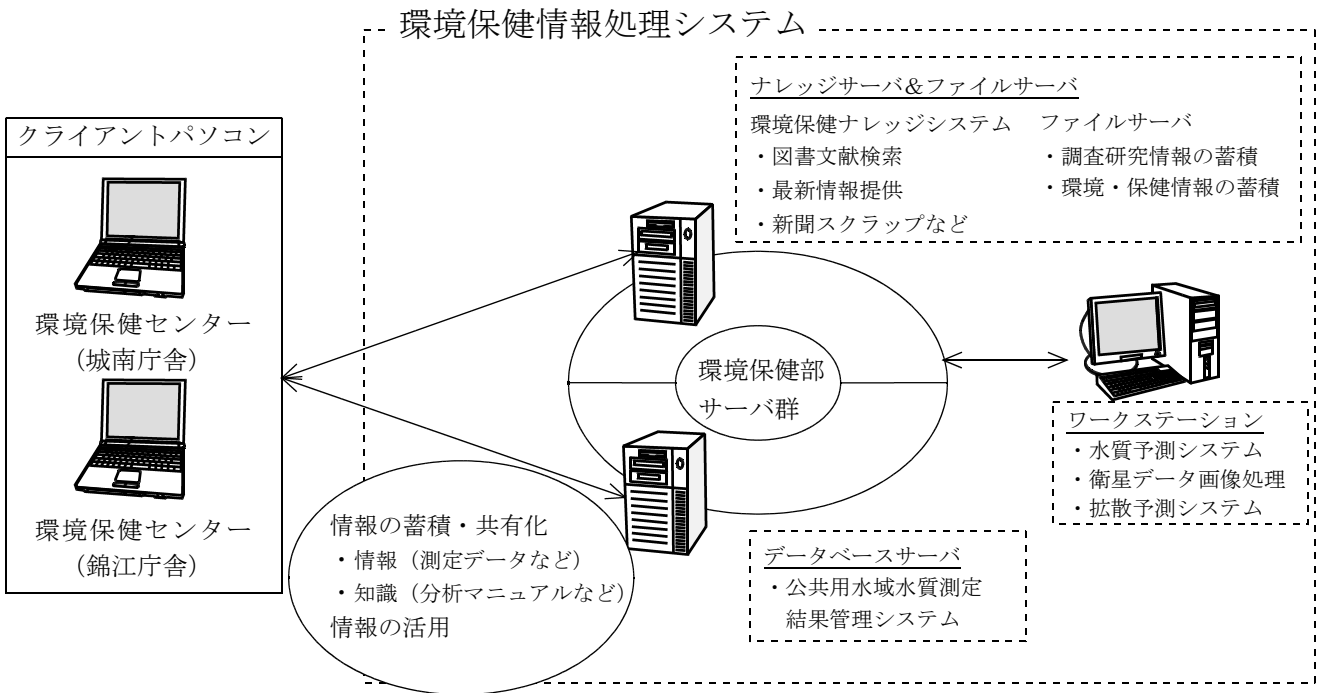


図1 環境保健情報処理システムの概要

ー独自のデータベース用のサーバ及びソフトウェアの更新を行った。

平成24年度は引き続き、環境保健情報処理システムを利用して、これまで収集した環境保健情報の効果的な共有及び一元的管理、各種報告の統計・解析のほか環境監視・環境管理など環境行政の各種施策の支援を行った。

また、公共用水域水質測定結果管理システムを利用して、公共用水域水質データの管理・各調査研究へのデータ提供を行った。環境保健情報処理システムの概要を図1に示す。

1. 1. 4 研修・広報業務

研修生及び来訪者に対し、大気テレメータシステムで収集したデータの表示装置や各種パネルなどを使用して、当センターの業務、鹿児島県の環境の現況等について研修・広報を行うとともに県のホームページ上で当センターの業務についての広報を行った。

また、学生に職業意識の向上のための機会を提供するとともに、学生の行政に対する理解を深めることを目的としてインターンシップ研修生の募集、受入を支援した。